

沖釣り釣行記

納涼

夜釣りマダカ 絶好釣 !!

7月31日(月)、釣友の平尾夫妻と3人で優誠丸(片名港)に乗り込み「マダカの夜釣り(18時30分出港・23時帰港)」に今年も挑戦してきました。本日は、小潮で満潮が23時28分、魚の食欲の増す上げ7分が納竿前にあたり期待の持てる潮回りです。仕掛けは、胴突き2本バリ(枝長1.5m)、オモリは40号、エサはウタセエビと大型のアオイソメ。微風で半月の絶好のコンディションでした。



[義弘さんと78cmのスズキ]



[友美さんと80cmのスズキ]



[私と45cmのセイゴ]

78cm・80cmのスズキを夫婦でゲット !!

初投入から30分ほどは、明るさが残り、全くアタリなし。周囲が、暗くなり始めた頃、友美さんのサオが大きく曲がった。サオ先が、グイグイ引き込まれ、リールから糸が引き出される。水面に、白く大きな魚影が見えてきた。でかい!! タモですくわれ船上に横たわったのは“80cm 3.4kgのスズキ”。次にサオを曲げたのは、義弘さん。友美さんと同じくらい大きな引き込みをかわして上げたのは“78cm 3.6kgのメタボなスズキ”。

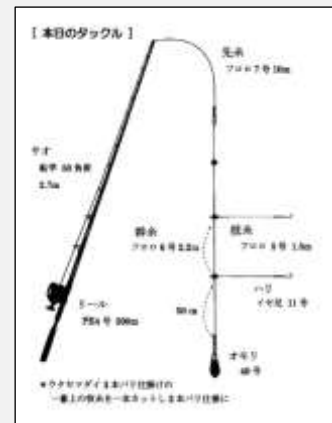
10分後、私のサオにアタリがあり、上がってきたのは“45cmのセイゴ”。すぐに同型が上がったが、どう見ても見劣りがする。

10時30分頃、私のサオ先が急激に引き込まれた。上がってきたのは、47cmのマダイ。それからは私の独壇場。マダイを次々と釣り上げ、沖上がりまでに11匹をゲットした。

「この夜釣りで11匹もマダイが上がったのは、初めてだ!」と香川船長もビックリ。本日の私の釣果は、43・45cmの2匹のセイゴに、40~47cmのマダイ11匹それに25cmのカサゴ1匹の合計14匹であった。



[本日の全釣果]



<船長からのアドバイス>

マダカの夜釣りは、ひたすら“待ち”の釣りである。本日は、エサに「ウタセエビ」と「青イソメ」を使ったが、エサによってアワセ方が違うので覚えておいてください。

- ① マダカの夜釣りでは小さい当たりが多いが、「ウタセエビ」の場合は、サオ先にアタリが出た瞬間に即アワセ。
- ② 「青イソメ」の場合は、小さなモタシは見逃し、次に来る大きなモタシで大アワセする。

[優誠丸船長 香川 優介 080-5164-4926]